

平成 26 年度 第 2 回 「伊勢志摩定住自立圏共生学」運営会議議事録

平成 26 年 9 月 5 日(金)

18 時～19 時 30 分

場所：本部 小会議室

<要 旨>

清水学長より、本学が文部科学省に申請した平成 26 年度「地（知）の拠点整備事業」『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラムによる地域人材育成が、7 月 25 日に採択されたこと、本学と 3 市 5 町が連携して「地域の定住機能の新たな在り方を自らの課題として捉え行動できるアクティブ・シチズンの育成」のための教育プログラム作りと大学教育の質的転換及び地域課題研究体制の構築に取り組むための支援と、協力の依頼があった。

議 題

1. 「伊勢志摩定住自立圏共生学」教育プログラム（Ⅰ～Ⅳ科目）について

1) カリキュラム全体の人材育成目標

清水学長の求めにより、齋藤教育開発センター長から資料(案)に基づき、説明があった。

・カリキュラム全体の人材育成目標

「地域の定住機能の新たな在り方を自らの課題として捉え行動できるアクティブ・シチズンの育成」

2) 科目構成と各科目の学修内容

齋藤教育開発センター長から資料(たたき台案)に基づき、説明があった。

科目Ⅰ・Ⅱについては、3 市 5 町の方に本学にて 2 年生の秋に予定受講者 70 名程度、1 コマ 90 分の講義をお願いしたい。または、講義データの提供をお願いしたい。その場合は、本学教員が講義を担当する。担当の可否、講義スケジュール（市町別・産業別・観光資源別等）、講義回数（市 2 回・町 1 回）についてご意見を次々回の運営会議で伺いたい。内容調整を図りながら、年内に決定したい。科目Ⅲ・Ⅳについては、三菱総合研究所が、「新事業人材育成事業」（農林水産省）で作成した 4 種類の教材を参照し、内容を 3 市 5 町に置き換えて、三重銀総研に講義を依頼する。

審議の結果、異議なく了承された。

2. 「伊勢志摩定住自立圏共生学」運営会議への三重銀総研の参加について

齋藤教育開発センター長から資料(たたき台案)に基づき、説明があった。

全国で三重銀総研と愛媛銀行の 2 機関が、6 次産業サポートセンターを設置していることと、科目Ⅲ・Ⅳを担当いただくことから、運営会議の委員に参加をお認めいただきたい。

審議の結果、異議なく了承された。

3. Community Learning Labo (CLL) 7 箇所（伊勢市以外）の設定について

齋藤教育開発センター長から説明があった。

フィールドワークや大学と担当者の打ち合わせ等の拠点として、各市町に Community Learning Labo (CLL) 7 箇所（伊勢市以外）を設置するにあたり、場所の提供をお願いしたい。利用形態と

しては、30 m²程度の場所を常設ではなく、活動時の平日の昼間、もしくは土日である。次々回の運営会議で伺いたい。

審議の結果、異議なく了承された。

4. 『伊勢志摩定住自立圏共生学』プログラム開発圏域内視察について

- ・ 目的：各市町の資源の現況についての理解及び課題認識を共有
- ・ 行程（案）：1日目（伊勢市・明和町・玉城町・度会町）、2日目（鳥羽市・志摩市・南伊勢町）、3日目（大紀町）（全て観光バス利用）

齋藤教育開発センター長から説明があった。

運営会議委員全員で、出来る限り早い時期（10月）から年内の間に圏域内の視察を行いたい。

参加と視察先、目的等の提案を次々回の運営会議でお願いしたい。その上で行程を調整していきたい。

審議の結果、異議なく了承された。

5. 自己点検・評価及び外部評価体制(案)について

1) 自己点検・評価及び外部評価体制(案)について

齋藤教育開発センター長から資料に基づき説明があった。

自己点検・評価委員については、3市5町の運営会議委員にお願いをしたい。代理も可能である。首長の都合がつけば出席をお願いしたい。自己点検・評価委員会を年2回（事業計画と事業実績）開催し、自己点検・評価を行う。自己点検・評価に関し、外部評価委員3名（丸山岩手大学副学長・岩崎四日市大学副学長と滋賀県立大学から検討中に変更）を委嘱して外部評価委員会を開催し、年度末に業績報告書を作成し、実績報告書の作成を行いたい。

審議の結果、異議なく了承された。

2) 外部評価委員の委嘱(案)について

- ・ 丸山 仁 氏（岩手大学副学長／同大学COC実施責任者 平成25年度採択校）
 - ・ 岩崎 恭典 氏（四日市大学総合政策学部教授／同大学COC実施責任者 平成26年度採択校）
 - ・ ○○ ○○ 氏（滋賀県立大学教授／同大学実施責任者 平成25年度採択校）⇒ 検討中
- 齋藤教育開発センター長から資料に基づき説明があった。

審議の結果、異議なく了承された。

6. 今後の検討課題等について

齋藤教育開発センター長から資料に基づき説明があった。

- 1) 「伊勢志摩定住自立圏共生学」運営会議Webページ開設と開設後の相互リンク先について
- 2) 社会人募集要項の履修条件等について
- 3) 伊勢志摩共生学（現「伊勢学」の内容拡充）について
- 4) 伊勢志摩共生学実習1～4（インターンシップ）について
 - ・ 場所
 - ・ 受入先
 - ・ 内容
- 5) 科目Ⅰ・Ⅱの補助教材（市町の補助教材データ等）
- 6) 科目Ⅲ・Ⅳの執筆者、執筆・編集体制

7. 「伊勢志摩定住自立圏共生学」運営会議日程(案)について

審議の結果、金曜日から木曜日に変更して開催することが確認された。

8. その他

報告

1. 国内先行事例視察先について

- ・岩手大学 地域と創る ‘いわて協創人材育成+地域定着’プロジェクト
- ・滋賀県立大学 びわ湖ナレッジ・コモンズ―地と知の共育・共創自立圏の形成―
- ・長崎県立大学 長崎のしまに学ぶ―つながる とき・ひと・もの―

* 次回日程

平成 26 年度第 3 回運営会議は、9 月 25 日(木)18 時から本部大会議室にて開催されることが確認された。